

明治四年（一八七二）加納藩知事による雨乞いに関する史料（翻刻）

「明治四年 一番諸事日記帳 未六月朔日より十月廿二日迄」（青木久衛）より

（青木久太郎家文書 岐阜県歴史資料館蔵）

① 六月朔日、今日ハ時雨降候、誠ニ潤雨ニ付皆々為降度存候
得共、少々之事ニ迷惑候、今日は田方水旱候ニ付、昼後ハ友七・
乳母も出シ候てかい草ヲ取候、

② 六月廿日、今日ハ少々ツ、雨三度廻り降候、昨夜も大分降候間
一寸しめり候、乍併只今迄ニ畑物枯かかり候位之事故、
中々畑しめり不申候、餘所雨乞ヲ頻ニ懸ケ候得共、下郷は
一向掛不申候、畑物は大分日中ニハしわぼり候物有之候、
余程之日（旱）魃候、田方ニは水無シ、大割れニ割れ候て草ニ迷
惑致候、

③ 六月廿五日、天気、今日ハ御上様より多度山之黒幣ヲ請ニ御出
被成候間、道筋村々迎ニ出候様と申事ニて村役人迎ニ出候、
竹ヶ鼻之方御出ニて坂牧前東へ堤通斗り鶉之方御出ニ相成
候、当村御通行ハ今日昼時ニ付、八ツ時分ニ雨十粒斗り降
り、夜え向ケ曇ル、

村方も今日ニて三日挑灯ニて雨降ヲ掛候間、今夜雨少々ツ、
降出候、神徳清明奉恐縮候、誠ニ神国之端（瑞）
ト奉仰候、

④ 六月廿六日、朝天気ハ曇り、今日四ツ時分より少々ツ、雨降出候
八ツ時分より誠ニ大雨降来暫時ニ田畑共水付候、

⑤ 六月廿七日、天気快晴、昨日は誠ニ潤雨ニて村方一同共慶、
今日ハ休日仕候、

今日晩方ニ八幡宮え松明ニて雨乞御礼ヲ致候、先年之通
石川坑迄行候、

⑥ 六月廿八日、天気吉、今日も休日致候、是ハ加納天神え御領分
雨乞之為黒幣ヲ御上様より御請被成候間、一昨日潤雨有之
候間、村中御礼ニ参上可致旨廻章相廻り候間、加納天神え
参詣致スとて休日候、是ハ御領分中、